

事務事業評価一覧(課別)

令和5年度

農林水産部林務水産課

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	739,448	コスト	成果	
621 林道整備事業(県単)	14,176	→	→	122-01
2020 林業施設維持管理事業	7,420	→	→	122-02
2021 飲雑用水施設管理事業	400,454	↓	→	234-01
2022 しいたけ生産組織育成事業	50	→	→	121-01
2024 特用林産物推進対策事業	1,610	→	→	122-03
2026 松くい虫防除事業	2,648	→	→	211-01
2028 林道等維持管理事業	10,564	→	→	122-04
2029 林道整備事業	7,034	→	→	122-05
2031 治山事業	0	→	↑	241-01
2032 企業との協働の森づくり事業	990	→	↑	213-01
2033 市有林維持管理事業	110,926	↓	→	211-02
2035 森林吸収源対策事業(森林環境譲与税)	31,226	↑	↑	223-01
2040 漁業資源繁殖施設整備補助事業	226	→	→	122-06
2041 漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)	215	→	→	122-07
2042 漁業資源放流支援事業(パイロット事業)	91	→	→	122-08
2045 水産まつり開催事業	500	→	↑	123-01
2046 漁港管理事業	5,418	↑	↑	122-09
2047 漁港整備事業	112,756	→	→	122-10
2534 担い手確保・育成事業(森林環境譲与税)	8,966	→	↑	121-02
2540 森林経営管理事業(森林環境譲与税)	17,710	↑	↑	211-03
2569 木材利用促進事業(森林環境譲与税)	6,468	→	↑	211-04

1. 基本情報								
事務事業名	621 ー 林道整備事業(県単)					所属	林務水産課	
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)							
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興							
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興					予	会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。					算	01	一般会計
						科	06	農林水産業費
						目	02	林業費
						目	03	林道事業費
						事業期間	単年度繰返し	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし		
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される		関連計画	特になし		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 事業規模等が国庫事業の対象とならない林道の改良等を、県単独事業により行う事業。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 改良が必要な市が管理する林道	改良が必要な市が管理する林道の長さ	m	32	41	41	9
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適切に利用できるようになる	新たに改良された林道の長さ	m	0	41	41	9
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		2,797	14,176	7,000	基幹林道国分山麓線の排水及び法面改良工事40.5mを実施することにより、円滑な森林活動と安全な通行が確保された。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	1,118	5,694	2,800	
	地方債	1,600	8,300	4,200	
	その他	0	0	0	
	一般財源	79	182	0	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2020 - 林業施設維持管理事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	林務水産課	
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興						
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興				予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。					款	06 農林水産業費
						項	02 林業費
						目	01 林業総務費
					事業期間	平成18年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	地方自治法第244条の2(指定管理)	
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

林業施設の維持管理を行う。
 【設置目的】市民に森林を利用したレクリエーションの場を提供し市民の健康増進を図るため。
 【施設の概要】
 指定管理施設: 黒石岳森林公園、丸岡公園/バンガロー施設
 直営施設: 川原加工貯蔵施設、松ヶ野地区林業集会施設、溝辺竹子集会センター、林構事業機械保管倉庫(鐘突)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 森林を利用したレクリエーションの場を享受し、健康増進が図られる	利用者アンケートで満足・やや満足と答えた割合	%	100	100	100	100
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	8,484	7,420	10,374	黒石岳森林公園について、今後も公募による指定管理施設として続けることとなり、応募のあった2社から選定し、令和6年度からの新たな指定管理者を指定することができた。 また、施設の維持管理に努め、事故もなく安全な施設運営ができた。 消耗品費66千円、光熱水費74千円、修繕料297千円、保険料148千円、委託料6,025千円、備品購入費813千円
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	28	31	
一般財源	8,456	7,389	10,362	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	施設全般において老朽化が進んでいるため、施設の点検を充分に行い、市民が安心・安全に施設を利用することができるよう維持管理を徹底する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2021 - 飲雑用水施設管理事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	林務水産課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	4. 水の安定供給と適正な排水処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。 ②下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。			算	款	06 農林水産業費
				科	項	02 林業費
				目	目	01 林業総務費
				事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①②市民・事業者		①安全でおいしい水を利用できる ②排水を適切に処理してもらう		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

国分地区の飲雑用水施設について、維持管理を行う事業。また、朴木地区・木場深迫地区については、飲雑用水施設から水道事業施設へ移管するために必要な施設整備等を進める。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 国分地区の飲雑用水施設	国分地区の飲雑用水施設の箇所数	箇所	20	20	20	17
イ 朴木・木場深迫地区の水道施設	朴木・木場深迫地区の給水施設の箇所数	箇所	87	87	87	87
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安心・安全な給水施設に維持する	水道受給者からの要望・苦情の件数	件	5	4	4	3
イ 水道事業に適合した給水施設に改修する	改修した給水施設の箇所数	箇所	24	34	24	87
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		192,292	283,424	296,884	牧之原地区簡易水道区域拡張事業に伴い1基の配水池築造工事及び、3,496mの送・配水管布設工事を実施し、安定的に水供給する施設整備を行った。	
財源内訳	国庫支出金	71,602	99,451	96,011		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	111,900	174,200	190,300		
	その他	0	0	0		
一般財源		8,790	9,773	10,573		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	令和6年度中に、現在飲雑用水施設を利用している木場深迫及び朴木地区を牧之原地区簡易水道へ移行するための工事を終える予定である。関係機関及び住民と連携を取り、円滑に移行を目指す。 また、各施設の老朽化の状況把握をし、今後の施設の管理や整備を検討する。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報			
事務事業名	2022 - しいたけ生産組織育成事業		
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	林務水産課
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興		
基本事業名	1. 農林水産業の担い手の育成・確保	予	会計 01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①機械導入や施設整備、農地の集積・集約等への支援により、生産性の向上を図ること で、担い手の育成と新規就農・就業者の確保に努めます。 ②関係機関との連携により、技術面や経営面、労働環境等に対する支援を行い、農林水産業の経営の安定化を図ります。	算	款 06 農林水産業費
		科	項 02 林業費
		目	目 02 林業振興費
		事業期間	昭和48年度～
基本事業の 対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	
	①担い手農林水産業者 ①新規就農・就業者 ②農林水産業者 ②農林水産業の関係機関	①育成される ①確保される ②経営が安定する ②連携が強化される	
		根拠法令 条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

しいたけ産業の振興を図るため、しいたけ原木の安定供給と乾しいたけ系統共販体制を確立するとともに、会員相互の連絡調整と技術の向上を図るため、しいたけ生産振興会に補助金を交付する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア しいたけ生産振興会員	しいたけ振興会員数	人	18	18	20	20
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア しいたけ生産量を増大させる	乾しいたけ生産量	kg	24,446	25,000	24,182	25,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		55	50	50	新規就農者2名が新たに霧島市椎茸振興会に加入した。また、後継者も数名おり、椎茸農家の高齢化に歯止めがかかりつつある。 霧島市椎茸振興会運営費補助金50,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	55	50	50		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	新規就農者や後継者の育成に向けて、振興会への支援を継続し、椎茸産業の振興と組織力強化を図る。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2024 - 特用林産物推進対策事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	林務水産課	
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興						
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興				予算科目目	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。					06	農林水産業費
					02	林業費	
					02	林業振興費	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される			関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

しいたけ、センリョウ、たけのこなどの特用林産物の生産力を維持・向上させるため、生産基盤等の整備に補助金を交付する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア しいたけ振興会加入者	会員数	人	18	18	20	20
イ センリョウ生産振興会加入者数	会員数	人	15	15	15	15
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア しいたけ生産量を増大させる	乾しいたけ生産量	kg	24,446	25,000	24,182	25,000
イ センリョウ生産量を増大させる	センリョウ生産量	本	48,900	60,000	58,702	60,000
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		1,064	1,610	3,014	事業主体: 牧園町椎茸振興会 事業内容: 特用林産の恵み豊かな産地づくり事業補助(刈払機2台)108,000円 事業主体: 夢笠山(株) 事業内容: かごしまの竹で育む産地づくり事業補助(伐竹及び集材による竹林改良)884,000円 センリョウ生産振興会への財政的支援は行っていないが、生産者研修に参加したりするなどして、生産者との関わりを保つことができた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	532	805	1,507		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
一般財源		532	805	1,507		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	特用林産物の生産拡大のために必要な生産基盤整備や、機器購入等の要望があれば、本事業により生産基盤等の整備を推進する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2026 - 松くい虫防除事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	林務水産課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成						
基本事業名	1. 自然環境の保全					予 会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。					算 款	06 農林水産業費
						科 項	02 林業費
						目 目	02 林業振興費
						事業期間	昭和52年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	森林病害虫等防除法	
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 国分・牟婁・牧園・霧島地区の景勝林について、薬剤散布または樹幹注入の方法によって病害虫の被害から防除する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 景勝松林	景勝松対象松	本	747	747	747	747
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 病害虫から守る	樹幹注入本数/景勝松対象松	%	15	15	20	25
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		1,505	2,648	3,950	【実績】 景勝松林樹幹注入事業 ・マツノマダラカミキリ対策 国分広瀬海岸(98本)、霧島神宮参道(40本)、牧園国民休養地等(12本) ・マツカレハ対策 国分広瀬海岸(34本) 【成果】 健全な松に薬剤の注入等を行うことにより、松くい虫の被害を未然に防止した。 また、マツカレハによる被害を防ぐため、樹幹注入を行った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	572	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	308	251	277	
一般財源	625	2,397	3,673		

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	新薬剤の開発等で事業の効率性の向上や費用削減が図れるような場合には、積極的に活用していく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2028 - 林道等維持管理事業					
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属	林務水産課	
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興					
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。				款	06 農林水産業費
					項	02 林業費
					目	03 林道事業費
				事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 市が管理している林道・作業道・作業路の除草、保守点検などを行う事業。94路線180,095m(R5.4.1時点)

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 霧島市が管理する林道	市が管理する林道の路線数	路線	94	94	94	94
イ 霧島市が管理する林道	市が管理する林道延長	m	179,663	180,095	180,095	180,755
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安全に通行できる	林道利用に関する苦情件数	件	35	15	13	15
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	24,693	10,564	27,165	林道等の草払い等維持管理業務を実施したことにより、林道等の機能維持と利用者の安全確保が図られた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	2,500	8,500			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
一般財源	22,193	10,564	18,665			

5. 振り返り<SEE (check)>		
妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	橋梁をはじめとした既存施設の点検・修繕を適切に行うことで、既存施設の長寿命化を図る。 しかし、施設の老朽化も進んでいるため、今後長期的には修繕等の費用が増加することも想定される。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名	2029 - 林道整備事業							
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	林務水産課		
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興							
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興				予 算 科 目	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。					款	06	農林水産業費
						項	02	林業費
						目	03	林道事業費
					事業期間	平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし		
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される		関連計画	特になし		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 森林整備を効率的に行うため、林道改良事業(国庫補助)や林道開設工事に伴う市有林支障木の処分等の林道整備を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市が管理する林道	市が管理する林道延長	m	179,663	180,095	180,095	180,755
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 林道を整備(工事)する	林道整備(工事)の延長	m	670	290	290	30
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		11,079	7,034	5,436	林道の改良事業を実施することにより、森林所有者等の森林管理を容易にし、林産物の搬出コストの低減や森林の持つ多面的機能の発揮が図られた。 (R4(線)手洗線整備:290m)	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	9,538	4,701	2,750		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	194	1,201		
一般財源	1,541	2,139	1,485			

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	継続路線の早期完成で、森林整備を計画的・効率的に進める。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名	2031 - 治山事業							
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	林務水産課		
施策名	4. 市民生活の安全性の向上							
基本事業名	1. 防災基盤の整備と災害復旧対策の推進				予	会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①災害危険箇所の整備や治水対策、危険箇所に立地する住宅の移転促進等の事業を実施し、災害の未然防止に努めます。 ②災害発生後は、被害拡大や二次災害の防止・早期復旧に努めます。 ③地区防災計画の作成支援や防災訓練等を通じ、防災知識の普及・啓発を行うとともに、消防団員の確保のため、若者や女性の加入促進を図ります。				01	一般会計		
					算	款	06	農林水産業費
					科	項	02	林業費
					目	目	04	治山事業費
					事業期間	平成17年度～		
基本事業の 対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし		
	①災害危険箇所 ②災害発生箇所 ③市民(特に若者や女性)		①災害が未然に防止される ②災害が拡大しない ③早期に復旧する ④防災知識を身に付けてもらう ⑤消防団に入ってもらう		関連計画	特になし		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

山林自体または公共施設や人家等を守るため、構造物の設置・掘削・植栽等による治山事業を行う。
①県単補助治山事業、②県営県単治山事業のそれぞれの事業について、市の負担額を県に支払う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 山地災害から住民の生命、財産を守る	要望箇所数に対する工事箇所数治山事業の工事箇所数	箇所	0	1	0	1
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	0	0	2,500	令和5年度の実績・成果なし
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	0	0	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	県の治山事業に採択されるよう、現地調査を実施して、適切な要望を行う。また、決定後は年度内に完成するよう努める。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2032 - 企業との協働の森づくり事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	林務水産課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	3. 環境保全意識の向上			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算	款	06 農林水産業費
				科	項	02 林業費
				目	目	05 森林整備事業費
				事業期間	平成19年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 「企業との協働の森づくり事業」パートナーズ協定に基づく寄付金を活用して市有林の整備等を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市有林	市有林面積	ha	2,699	2,699	2,699	2,699
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適正に管理する	「企業と協働の森」の施業実施面積	ha	2	2	2	2
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	968	990	1,000	溝辺町にある外松私有林1.76において間伐を実施した。 ・所在地: 溝辺町竹子字外松3142-1 ・委託先: 始良西部森林組合		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	パートナーズ協定による協賛金で、市有林の間伐を実施し、CO2削減に繋がった。	
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	968	990	1,000		
	一般財源	0	0	0		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	トヨタ車体研究所との協働の森づくり事業におけるパートナーズ協定は、第4期として令和4年度～8年度まで締結している。企業主体で植樹イベント等の森林環境教育を行い、また、企業からの協賛金により、市有林の間伐等でCO2削減を図ってきた。今後も協定継続の合意に基づいて、森林環境保全等に貢献していきたい。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2033 - 市有林維持管理事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	林務水産課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成						
基本事業名	1. 自然環境の保全					予 会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。					算 款	06 農林水産業費
						科 項	02 林業費
						目 目	05 森林整備事業費
						事業期間	平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 市有林を適正に管理するための森林整備を行う。除間伐及び下刈等の森林整備については、森林組合等の認定林業事業体に委託して行っている。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市有林	市有林面積	ha	2,699	2,699	2,699	2,699
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適正に管理する	施業実施面積	ha	23	29	29	28
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	69,378	110,926	172,405	市有林を適正に維持管理したことにより、森林の持つ公益的機能の維持が図られた。 ①下刈12.69ha ②間伐29.17ha ③作業道開設6,560m	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	16,909	25,951	50,871	
	地方債	0	0	0	
	その他	47,131	75,432	109,163	
	一般財源	5,338	9,543	12,371	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	3森林組合から市有林の森林経営委託について提案を受けており、森林組合が委託を受けた私有林と一体的に施業を行うことで効率的な森林整備が見込まれることから、検討を進める。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報						
事務事業名	2035 - 森林吸収源対策事業(森林環境譲与税)					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	林務水産課
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	3. 地球温暖化対策の推進				予 算 科 目	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①環境等に調和した再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、森林環境譲与税を活用した森林整備等を行い、森林の二酸化炭素吸収量を増加させる取組を推進します。 ②省エネルギー等の普及・啓発活動を継続的に推進し、地球温暖化防止に向けた意識の醸成を図ります。					06 農林水産業費
					02 林業費	
					05 森林整備事業費	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		事業期間	平成31年度～
	①②市民・事業者・森林 ②市民・事業者		①再生可能エネルギーを導入してもらう ①二酸化炭素吸収量が増加する ②地球温暖化防止に向けた意識が醸成される		根拠法令 条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
					関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

森林の経営管理の支障となり、国県等の災害復旧事業等の対象とならない林道・作業道等の小規模災害復旧・維持修繕を行う。
また、間伐や再造林など森林(のCO2)吸収量の確保に取り組む森林所有者の負担軽減を図るため、森林経営計画を策定し国県補助金を申請している事業体を通して補助金を交付する(間接補助)。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 申請対象団体	申請対象団体数	団体	0	6	6	7
イ 林道	霧島市が管理する林道の路線数	本	94	94	94	94
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 対象団体を増やし、再造林面積を増やすことで持続的な森林経営を目指す	補助対象となった再造林面積	ha	0	70	77	100
イ 安全な通行を確保することで、森林整備の促進を図る	林道等の修繕延長	m	178	200	239	200
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		10,852	25,902	59,000	公共造林事業に該当する除間伐等に対して、市においても積極的な支援を行うことで、森林所有者の施業意欲の向上を図った。(令和5年度から森林環境譲与税を活用して実施)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	10,852	25,902	59,000	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	森林所有者の負担軽減を目的とした間接補助事業については、実情に合わせて適宜見直しを行い、再造林率の向上を通して、持続可能な森林経営をサポートしていく。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報								
事務事業名	2040 - 漁業資源繁殖施設整備補助事業							
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	林務水産課					
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興							
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興		予 会計 01 一般会計					
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。	算 科 06 農林水産業費 03 水産業費 目 目 02 水産業振興費		事業期間 平成17年度～				
			基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
					①農林水産業の生産基盤 ②山林	①適切に維持・整備される ②適切に保全される	関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 水産資源(イカ)を増産・育成するため、市内の2漁協(錦江漁協、県漁協福山町支所)が行うイカ産卵場所の設置事業に補助金を交付する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	210	210	206	210
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア イカを増産・育成できる	海に投入されたイカ産卵設備の数	基・束	60	60	60	60
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	226	226	226	錦江漁業協同組合が人工イカ産卵床10基を永浜港沖合に投入し、鹿児島県漁業協同組合福山町支所が雑木を活用し、イカシバ50束を小廻沖合い30mに投入した。		
財源内訳	国庫支出金	0	0			0
	県支出金	0	0			0
	地方債	0	0			0
	その他	0	0			0
一般財源	226	226	226			

5. 振返り<SEE (check)>		
妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	今後も事業を継続して、イカの増産育成に努めていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2041 - 漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)					
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	林務水産課
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興					
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興				予 算 科 目	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。					06 農林水産業費
					03 水産業費	
					02 水産業振興費	事業期間 平成18年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 水産資源(カサゴ)を増産・育成するため、錦江漁協が行うカサゴ放流事業に補助金を交付する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	210	210	206	210
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア カサゴを増産・育成できる	カサゴの放流数	尾	5,000	5,000	5,000	5,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		565	215	565	カサゴ(70mm程度)5000尾を、若尊鼻沖合に放流した。(実施日:令和5年6月14日)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	565	215	565	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	令和6年度以降も事業を継続して水産資源の維持に努める。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2042 - 漁業資源放流支援事業(パイロット事業)					
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属	林務水産課	
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興					
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。				款	06 農林水産業費
					項	03 水産業費
					目	02 水産業振興費
				事業期間	平成8年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 水産資源(マダイ、ヒラメ)を増産・育成するため、市内の2漁協(錦江漁協、県漁協福山町支所)が行うマダイとヒラメの放流事業に補助金を交付する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 海面漁業者	海面漁業者数	人	210	210	206	210
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア マダイ・ヒラメを増産・育成できる	マダイ・ヒラメの放流数	尾	61,846	61,846	61,846	61,846
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		91	91	91	錦江漁業協同組合及び鹿児島県漁業協同組合福山町支所が共に、マダイ3,300尾、ヒラメ27,623尾を放流することで、水産資源の保護培養を図った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	91	91	91	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	回遊性が小さいマダイとヒラメを放流対象魚としているが、地元漁業者等の要望次第では対象魚の変更はありうる。 (マダイは販売価格が低いため、漁業者の対象魚になりにくくなっている)
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	2045 - 水産まつり開催事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属	林務水産課		
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興						
基本事業名	3. 農林水産業の稼ぐ力の向上			予 算 科 目	会計	01 一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①農林水産物の販路拡大を図るため、新たなPRを行う生産者や団体の取組を支援します。 ②農林水産業者による「ゲンセン霧島」認定制度やふるさと納税の活用を促進し、農林水産物の認知度を高め、消費拡大につなげることで、農林水産業の稼ぐ力の向上を図ります。				款	06 農林水産業費	
					項	03 水産業費	
					目	02 水産業振興費	
				事業期間	昭和64年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市水産業事業補助金交付要綱等	
	①②農林水産物		①②認知度が高まる ①②販路が拡大される		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

水産業の振興や水産物の消費拡大、鮎等を育む天降川や錦江湾の豊かさをPRするために開催する市水産まつりの実行委員会に対して、まつりの運営費補助金を交付する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市内及び市外からの来場者	来場者数	人	1,500	2,000	2,000	2,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 市の水産資源の魅力を知ってもらう	まつりのイベント体験等への参加者数	人	0	100	54	100
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	500	500	500	あいにくの悪天候で、開会直後にカヌー体験や塩焼きコーナーが中止になったが、水産物販売(活き鮎、霧島いわがき、鮎めしなど)は概ね売り切れるほど盛況に終わった。大きなトラブルもなかった。	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
一般財源	500	500	500		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	水産まつりの運営については、実行委員会の委員とともに、改革改善を図り、より多くの方に水産業に関心を持ってもらえるイベントを目指す。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報							
事務事業名	2046 - 漁港管理事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	林務水産課	
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興						
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興				予	会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。				算	01	一般会計
					科	06	農林水産業費
					目	03	水産業費
				目	03	漁港管理費	
				事業期間			昭和28年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 市が管理する2漁港(国分漁港・永浜漁港)が安心安全に利用できるよう、施設の維持管理・修繕等を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 2漁港(国分・永浜)の漁業者	漁業者数(正準組合員数)	人	122	125	125	130
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安全に漁港を使用できる	施業実施件数	件	2	3	3	3
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		82	5,418	9,100	永浜漁港の整備に合わせて、水道施設を整備したことにより、船舶や漁具等の洗浄が容易になった。 また、堤防道路65mに側溝蓋を設置したことにより、地元車両や緊急車両等の通行が可能となり、地域の環境改善が図られた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	82	5,418	9,100		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	漁港施設の維持管理に必要な修繕を行い、施設を長期に渡り安全に使用可能とすることを目指す。 令和6年度には、防風対策の要望がある国分漁港について調査を実施し、整備の実施について検討する。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報						
事務事業名	2047 - 漁港整備事業					
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	林務水産課
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興					
基本事業名	2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興				予 算 科 目	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①計画的なほ場整備や農業用施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港や漁場、林道等の整備により、農山漁村の環境保全に努めます。 ②間伐・再造林を推進することで、森林資源の循環利用を図るとともに、計画的な施策による山林の保全に努めます。					06 農林水産業費
					03 水産業費	
					03 漁港管理費	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		事業期間	平成27年度～令和6年度
	①農林水産業の生産基盤 ②山林		①適切に維持・整備される ②適切に保全される			
					根拠法令 条例等	鹿児島県漁港漁場関係事業補助金交付要綱
					関連計画	霧島市国土強靱化地域計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 永浜漁港の活性化と地震・津波対策に加え、機能充実と安全性・作業効率の向上を図るために漁港施設等を整備する事業。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 永浜漁港の海面漁業者数	永浜漁港の漁業者数(永浜地区の正準組合員数)	人	9	9	9	9
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 安全・効率的に漁港を使用できる	整備漁港の漁業者・施設利用者からの苦情件数	件	2	0	1	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		13,096	112,756	18,144	永浜漁港の機能向上対策として、物揚場及び船揚場の整備と港内の浚渫工事を実施し、船舶及び漁港利用者の安全性と利便性の向上が図られた。
財源内訳	国庫支出金	6,548	56,378	9,072	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	5,800	50,600	8,100	
	その他	0	0	0	
一般財源	748	5,778	972		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	永浜漁港について、継続して機能性と安全性の向上のための整備を行う。令和7年度以降も国の補助事業を活用することで、市の負担軽減を図る。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2534 - 担い手確保・育成事業(森林環境譲与税)					
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	林務水産課
施策名	2. 活力ある農・林・水産業の振興					
基本事業名	1. 農林水産業の担い手の育成・確保				予 算 科 目	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①機械導入や施設整備、農地の集積・集約等への支援により、生産性の向上を図ること で、担い手の育成と新規就農・就業者の確保に努めます。 ②関係機関との連携により、技術面や経営面、労働環境等に対する支援を行い、農林水産業の経営の安定化を図ります。					06 農林水産業費
					02 林業費	
基本事業の 対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		事業期間	平成31年度～
	①担い手農林水産業者 ①新規就農・就業者 ②農林水産業者 ②農林水産業の関係機関		①育成される ①確保される ②経営が安定する ②連携が強化される			
					根拠法令 条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱、霧島市林業担い手育成・定着促進事業補助金交付要領
					関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

専門的かつ高度な知識・技術・技能等を有し、間伐等の森林整備を効率的に行うことができる現場技能者を確保・育成することを目的として、林業事業体に就業して5年以下の職員を対象に研修費補助や住宅費補助等を行っている。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 申請対象団体数	市内で森林整備を行う認定林業事業体	団体	11	11	11	11
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 技術・技能の向上が図られる	林業担い手就業・定着サポート事業研修補助実績(申請人数)	人	14	20	1	20
イ 新規就業者の雇用安定が図られる	林業担い手就業・定着サポート事業定住化促進補助実績(申請人数)	人	4	8	2	8
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	5,708	5,764	6,383	技術・技能習得研修支援 1団体 1名 労働強度縮減対策等支援 1団体 25名 新規参入定住化促進事業 1団体 2名 社会保険制度加入促進事業 3団体 19名 高性能林業機械リース支援事業 ※R6より他事業で実施 2団体 5台
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	5,708	5,764	6,383	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	林業就業者の担い手不足は未だ解消されず、新規就業者も少ない状況ではあるが、地域の実情に沿った支援を行うことで、持続的な森林整備を行うことができる体制づくりを推進していく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2540 - 森林経営管理事業(森林環境譲与税)					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	林務水産課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	1. 自然環境の保全			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。			算	款	06 農林水産業費
				科	項	02 林業費
				目	目	05 森林整備事業費
				事業期間	平成31年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 森林所有者と林業事業者をつなぐ新たな森林管理の仕組みである「森林経営管理制度」に伴う森林整備を行うとともに、市町村管理森林等の巡視活動を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市に森林経営を委託された森林	市に森林経営を委託された森林面積	ha	34	50	67	50
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適正に管理される。	市森林環境譲与税意向調査の結果、市へ森林経営を委託した面積	ha	2	5	3	5
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		38,905	17,114	41,202	森林経営管理制度に伴う意向調査業務については、285.22ha703名に行った森林経営に関する通知に対して、153.42ha362名から返信があり、うち市に森林経営を希望すると回答したものは66.87ha162名であった。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	38,905	17,114	41,202		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	令和6年度以降については、森林経営管理制度に伴う意向調査業務などの業務内容を見直すことで、事務効率化を図り、早期に集積計画まで行うことができる体制づくりを進める。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報						
事務事業名	2569 - 木材利用促進事業(森林環境譲与税)					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	林務水産課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	1. 自然環境の保全			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。			算	款	06 農林水産業費
				科	項	02 林業費
				目	目	05 森林整備事業費
				事業期間	平成31年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

木材利用による地球温暖化対策を推進するため、企業・団体・木造住宅建築主等の地球温暖化対策活動による二酸化炭素吸収量・固定量・削減量(県認証)に応じ、「森林炭素マイルージ」として交付金を交付する。木材利用PR効果が高いと認められる公共施設の木質化を推進する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 「かごしまCO2吸収量等認証制度実施要綱」に基づいた認証を受けた者	森林炭素マイルージ申請件数	件	8	10	7	10
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 様々な活動を通して環境に貢献する	森林炭素マイルージ事業の総量	t	1,587	1,900	2,037	1,900
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	1,548	6,468	8,674	CO2認証量が対前年度比約28%増加した。 CO2吸収量 71t(1件) CO2固定量 60t(7件) CO2削減量 1,906t(1件)
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	259	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	1,548	6,468	8,415	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	CO2固定量の申請件数が伸び悩んでおり、かごしま材を利用した住宅建築を増やすため、周知方法を工夫する必要がある。また、PR効果の高いものから公共施設の木質化を進めていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	